

平成22年度職員採用試験(大学卒業程度)

畜産一般 専門記述試験(22. 6. 27)

= 課題 =

○ 広島牛の種雄牛づくりについて

本県の中山間地域では、広島牛の繁殖雌牛が多く飼育されており、地域の基幹産業の一つとなっています。

この広島牛というブランド力をさらに高め、繁殖、肥育農家が経営を安定して続けるためには、優秀な種雄牛づくりが必要不可欠です。

この和牛の種雄牛づくりでは、各県が保有する和牛血統が異なることから、それぞれの県が独自に戦略を立てて実施しています。

広島牛の歴史は古く、その起源は江戸時代後期までさかのぼることができます。長年の育種改良により、特徴のある広島牛が作出されてきました。

また、現在では、本県は、従来の後代検定法に加え、クローン検定法も用いて種雄牛づくりを行っています。

広島牛の特徴を踏まえ、今後、どのような点に注目して種雄牛づくりを進めていけばいいか、あなたの考えを述べなさい。